

競技種目	講評
パソコンデータ入力	・上位入賞者は、ここ数年ではハイレベルな印象であった。特に課題2、3に関しては、満点に近い点数を取っていた。 ・課題1に関してはアンケートの内容に関して質問を頂き、年齢などの矛盾の指摘があった。ただあくまで正確に入力するのが競技の目的であるのでそのまま進めてもらったが、仕事として考えたときには素晴らしい能力であると感じた。来年以降はできる限りリアリティがある内容に寄せていきたいと思う。 ・課題2は、得意苦手がはっきり分かれている印象であった。特に関数に触れていないと指示書そのものの理解が難しいのかもしれない。まずは簡単な関数から触れることで単語の理解をしてもらえると向上すると思われる。 ・課題3は、内容としてだれもが知っている内容を重点に作成したので、読み込みやすかったと思うが、最後まで見れてない方がおそらく数名いたかと思われる。時間制限の中でミスを見つけることは簡単なことではないかと思うが、普段から黙読などしっかり行っていくことでこの課題の点数は上がるのではないかと思います。 ・今大会も多くの方に参加してもらい、大いに盛り上がりを感じました。競技中に質問などもそれほど多くなかったので、みなさんしっかり練習はしてきたのかなと思われます。ただ得意な課題と苦手な課題がはっきりされている方が今回は多く見られた印象でしたので、来年に向けてしっかり苦手な部分を克服して再度チャレンジしてもらえると嬉しいです。
ワード・プロセッサ	ワード・プロセッサは、英文45分、和文60分の競技を行いました。 英文は、入力スピードだけでなく、図形の挿入などの機能を効率よく使いこなせるかを求める課題でした。 また、和文では、段組の設定によって、2ページ目のやり易さが変わったり、地図の細かい設定まで取り組むことができる、完成度が上がりました。 そのため、日頃の練習としては、入力練習だけでなく、ワードにどんな機能があるかを色々試しておくことだと思います。
ビルクリーニング	ビルクリーニング競技に参加された選手の皆様、お疲れ様でした。 まず初めに、今大会の競技運営において、資材準備の不備により競技開始直前に課題内容の一部を変更することとなり、参加選手の皆様に迷惑とご負担をおかけしましたことを、改めて深くお詫び申し上げます。 今競技2つの課題を通して、多くの練習（訓練）を経て大会に臨まれたことがうかがえ、落ち着いた作業が出来ていました。特に作業手順と入退室時の挨拶は全員完璧でした。 一方で、さらなる技術向上に向けては、作業におけるリズム感（躍動感）と作業時間（スピード）が課題として挙げられます。 全国大会に出場される選手の方には、今回の講評内容を踏まえて更に技量を磨かれ活躍されることを期待しています。
オフィスアシスタント	参加された選手の皆様、大変お疲れ様でした。 オフィスアシスタント競技は、課題1の「発送準備」と課題2の「郵便物の仕分け」で構成され、競技時間が長いことに加え、各課題とも正確でかつ素早い判断力や照合力、手先の器用さ、滑らかな動作など、総合的な作業遂行力が求められる競技です。 皆様の競技に取り組む姿を拝見させていただきましたが、事前に相当トレーニングし準備されたこと、この競技にかけると真剣さや一生懸命さがヒシヒシと伝わってきました。 また、作業を効率的に、かつ効率的に進められるよう、書類や名札の配置を変える、人によっては立って作業を行うなど、それぞれが工夫をされていたことが印象的でした。 今回よい成績をおさめた方々は、スピードはもとより、書類を正確に折り、シールを綺麗に枠内に貼る、個人情報情報を正確に取り扱うといった作業精度も高いレベルにありました。一ミリ以下の誤差が成績を左右するシビアな競技であったと思います。 正確で素早く作業を行うこと、自分なりに工夫することは、全ての仕事に求められる重要な要素です。また、個人情報を適切に取り扱うこともこれまで以上に重要となっています。 今回の経験を活かし、皆様がさらに研鑽を積まれること、ますます活躍されることを期待します。
ネイル施術	選手の皆さま、大変お疲れ様でした。 今年度は大阪大会で初めてネイル競技（デモンストレーション競技）を実施しました。選手・モデル・審査員・運営の皆さまのご協力のおかげで、大きな混乱もなく競技を終えることができました。 今回の競技では、第1課題でポリッシュとジェルによるカラーリング、第2課題でネイルアートを実施しました。どの選手も日頃の練習の成果を発揮しようと、真剣に競技へ取り組まれていました。 初開催ではありましたが、ネイリストとしての丁寧な施術やデザイン性の高い作品も多く見られました。一方で、時間配分や道具の扱い、衛生管理などに課題が見られる場面もありました。限られた時間の中で完成度を高める技術とともに、こうした基本も大切にしながら練習を積み重ねていただきたいと思います。 今回の競技を通して、ネイルという仕事の魅力や可能性を多くの方に知っていただく機会になったと感じています。 来年度以降も競技内容をさらに充実させ、多くの方が挑戦できる競技へと発展していくことを期待しています。